



奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場



今年最後の現場だより。
今年も一年、お読み頂きありがとうございました。

寒くなり「麋角解(さわしかつのおつる)」(二十四節季 七十二候)をむかえました。

「麋」の読み方を調べると「おおじか(大鹿)。なれしか(馴鹿)。」と出てきました。大鹿の角がとれる季節がきたとされているようです。

でも奈良の鹿は春に生え替わるのに..
と思って更に調べていくと、この「麋(さわしか。大鹿)」は奈良にいる鹿ではなく「シフゾウ」をさしているとのこと。 (日本にも多摩動物公園、熊本市動物公園、安佐動物公園などにいるようです。ニホンジカより2倍くらい重く大型で、大きな角を持っています。)

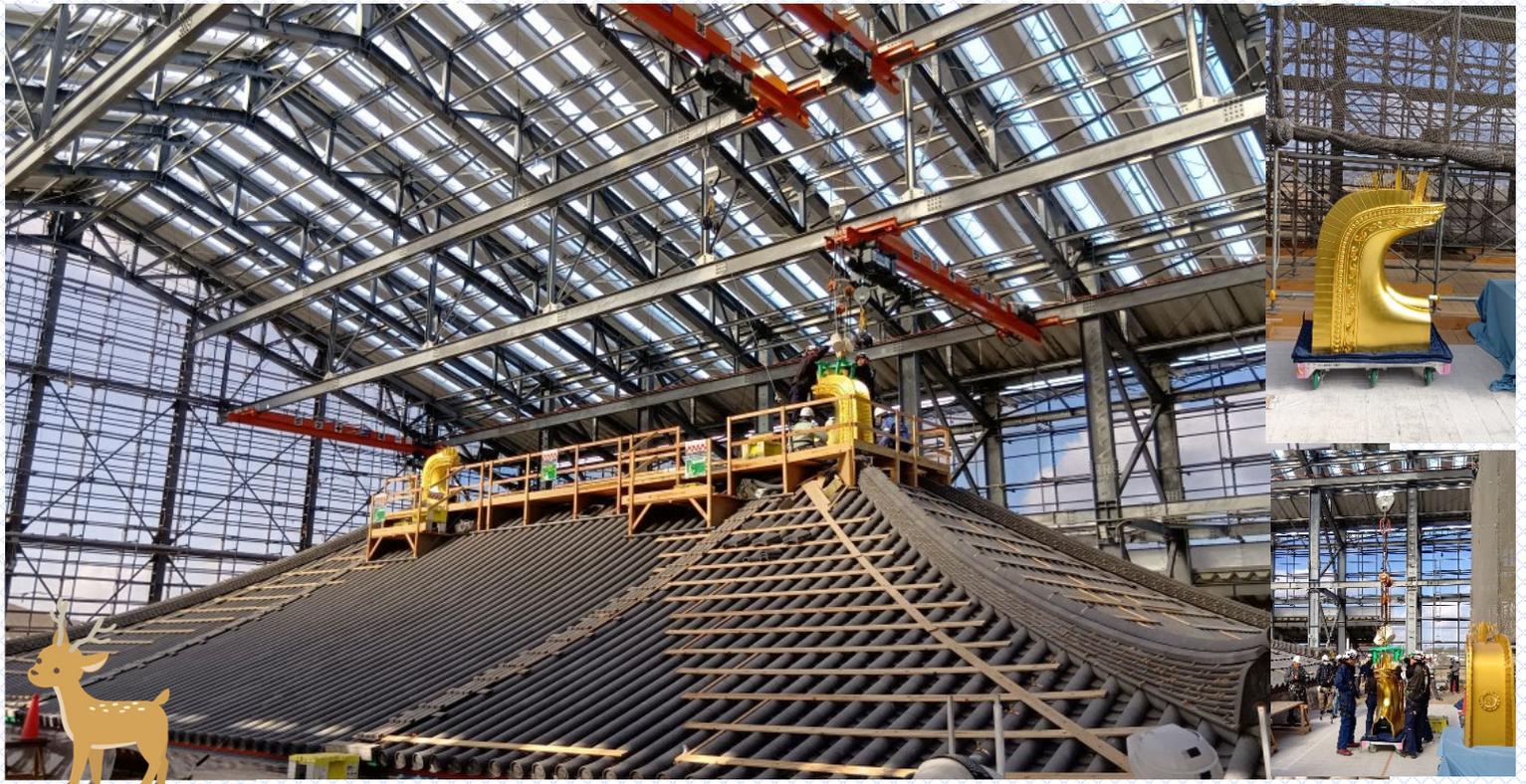
こちらのシカは年末年始に落角することからこの時期の候となっているようで、色々な生き物がいることを知ると共に、見事な奈良の鹿の角を見ると不思議な季節感を感じます。

～現場進捗～ 屋根の両側に鴟尾(しび)が取り付けました！

屋根に鴟尾がのったことで、東楼の工事も佳境を迎えました。来年の秋には、現場を覆っている素屋根が西楼に向かって移動することを目標にしています。

沖縄の首里城の火災を受け、工事中に消火設備の追加など防火対策の強化のため随分と工事の進み具体を心配しましたが、今後、東楼の左官や塗装の仕上げ作業を経て、東楼にとりつく回廊、外構の整備を踏まえて来年度末までの完成を目指しています。

平城宮跡は、朱雀門に始まり 大極殿、大極門、東楼と、着々と奈良時代の姿を形成し始めています。是非、奈良まで一度足を運んで頂き、奈良時代に思いをはせて、ごらんに頂けましたら工事関係者一同、うれしく思います。



■～魅せる！現場
～2025年3月20日(祝日)～現場見学会(最終回)





奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

～魅せる！現場～

前回以降下記の見学会を実施しました。

- 10月31日 奈良の行政相談員の研修
- 11月4日 最後のミニガイドツアー
- 11月14日 近畿の建築業の関係者
- 11月28日 春日奥山古事の森の普及啓発

(お知らせ)

3月20日(祝)に最後の現場見学会を実施します。
 (京都営繕HPにて現在、参加車募集中)



11月28日 (春日奥山古事の森) 見学風景



11月14日 (建築業関係者) 見学風景



11月4日ミニガイドツアー見学風景



時を縛う・時を管む

平城宮跡
東楼復原工事

2025 3/20 祝・木
13:30～16:00
(受付 13:00～ 要予約50名)

13:00 ～【受付】 復原事業情報館(現場横)
13:30 ～14:50 シンポジウム《伝統を繋ぐ仕事》
15:00 ～16:00 現場見学(最終回)

魅せる！現場
最後の現場見学会

【申込】
フォームよりお申し込みください
京都営繕事務所HP(担当 上田)
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kyoei/works/miserugenba/>

【場所】
平城宮跡歴史公園内・東楼工事現場
(奈良市桜井町)
集合場所：現場横(復原事業情報館)

シンポジウム
伝統を繋ぐ仕事

【登壇予定者】
コーディネーター 竹中工務店
宮大工 瀬川春社建築
塗装職人 三宅塗装店
左官職人 南尾工業

■～魅せる！現場～

～2025年3月20日(祝日)～現場見学会(最終回)

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

